



よいことの
ために
手をとりあおう



2025-26 年度 RI メッセージ
国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレックス氏

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報



例 会：毎週金曜日
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2025-26 年度
会長：鈴木寿幸 副会長：桑原 茂 幹事：加藤智之 副幹事：杉浦 聡

例 会 第 1 6 2 3 回 合同新年賀詞交歓会/小杉苑

会 長 挨 拶

鈴木寿幸君



皆さん、明けましておめでとうございます。
本日は、年初の大変お忙しい中、藤枝ロータリークラブ、藤枝南ロータリークラブの合同新年賀詞交歓会に、ご出席をいただきありがとうございます。

2026 年初初めてのロータリークラブの例会が、両クラブ合同で開催されることを大変嬉しく思います。開催にご尽力いただきました両クラブの親睦委員会、幹事の皆様に感謝を申し上げます。

申し遅れましたが、私は、2025-26 年度の藤枝南ロータリークラブの会長を仰せつかっております鈴木寿幸と申します。旧年中は、両クラブの皆様には大変お世話になり、誠にありがとうございました。本年もよろしくお願いいたします。

藤枝南クラブは、1991 年（平成 3 年）藤枝ロータリークラブの 20 周年記念事業として、藤枝クラブから 13 名の方が移籍し、藤枝南クラブが設立されたと聞いております。現在も 2 名の移籍された方が在籍をしております。

初代の 富澤会長年度は、38 名でスタートし、10 名増員し、期末には 48 名。

35 年経過した現在は、女性会員も 2 名在籍し、会員数は 48 名を維持しております。

2026-27 年度には、藤枝南クラブから第 2620 地区のガバナーを輩出する年度となりますので、一昨年より、当クラブの多くのメンバーが地区へ出向し、米山奨学生受入・ハンガリーからの長期派遣留学生、ホストファミリーへのサポート、ガバナー年度の地区大会及び年間スケジュール調整等、今までにない良い経験をさせていただいております。

今後の予定は、2026 年 3 月 22 日（日）には、ここ小杉苑にて「会長エレクトローニングセミナー（PRLS）」、4 月 26 日（日）には、静岡市のグランシップにて「地区研修・協議会」を開催予定です。藤枝南クラブで若林ガバナーを支えるクラブ体制を構築してまいりますので、ご支援をお願いいたします。

最後に本日の合同例会が、藤枝ロータリークラブ、藤枝南ロータリークラブの親睦の和が広がることを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。





皆さま、新年あけましておめでとうございます。
 本日は、藤枝ロータリークラブ・藤枝南ロータリークラブ合同による新年賀詞夜間例会にご出席いただき、誠にありがとうございます。新しい年の始まりを、こうして両クラブの皆さまと共に迎えられることを、大変うれしく思っております。
 本年の担当は藤枝南クラブということで、素晴らしいご準備と運営に心より感謝申し上げます。毎年交互に開催しているこの合同例会は、両クラブの絆を深める大切な機会であり、ロータリーの友情と連帯を改めて感じる場でもあります。
 そして今年は、藤枝南クラブから次期ガバナーが誕生されるという、特別な一年でもあります。大変お忙しい一年になるかと思いますが、藤枝ロータリークラブとしても、できる限りのご協力をさせていただきたいと考えております。共に支え合いながら、地区全体を盛り上げてまいりましょう。
 本日までご参会の皆さまのご健勝とご多幸、そして両クラブのさらなる発展を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。
 本年もどうぞよろしくお願いいたします。

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
30/48 62.5%	38/48 79.16%

(1) 欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○伊藤彰君○伊藤恒君○稲葉君○江崎君
 ○大村君○川口君○鷺坂君○鈴木照君
 ○富澤賢君○富澤静君○内藤君○中野君
 ○中山君○早川君○増田君○若林君○渡辺哲君
 ○渡邊博君

(1) メイクアップ者

中山恵喜君(静岡北)

欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
1/23(金) 第 1624 回	会員卓話	理事会
1/30(金) 第 1625 回	早朝例会	
2/6(金) 第 1626 回	会員卓話	理事会
2/20(金) 第 1627 回	会員卓話	小杉苑





1/10-11 U-10 サッカー大会

■ 開会式 会長 挨拶



「第 23 回 藤枝南ロータリークラブ杯争奪 U10 サッカー大会」の開催を心よりお喜び申し上げます。

「第 23 回 藤枝南ロータリークラブ杯争

奪 U10 サッカー大会の開催にあたり、私ども藤枝南ロータリークラブは、藤枝市の少年サッカーの発展と、将来を担う健全な子供たちの育成のお役に立ちたいと考え 2002 年（平成 14 年）より、第 23 回を数えます歴史あるこの大会をサポートさせていただき、大変光栄に思っております。

本大会の運営にあたりご尽力いただきました。

（一社）藤枝市サッカー協会ならびに 4 種委員会、関係者の皆様方に厚く御礼を申し上げます。

参加される 20 チームの皆様が、2 日間の大会において、これまで積み重ねてきた練習の成果を存分に発揮し、記憶に残る熱いプレーを繰り広げて楽しんでください。

サッカーを通じて得た向上心と交流の輪を広げられることを期待しております。

今年の干支は午年です。「うま」を逆から読むと「まう（舞う）」になります。舞うは祝い事や吉事の象徴とされています。左（ひだり）馬のようにグラウンドを舞（まう）て、未来の日本代表選手になってください。



■ 閉会式 会長 挨拶

選手の皆さん、U-10 サッカー大会、本当にお疲れさまでした！

今日まで、練習を頑張ってきた成果を存分に発揮できましたか？

この大会を終えて、皆さんはたくさんの経験をしたと思います。

・「チームみんなで協力して、一つの目標に向かって頑張ったこと」

・「ナイスプレーができた喜びや、悔しい気持ちを味わったこと」

・「仲間を信じて、支えあう気持ちを学んだこと」

これらはすべて、皆さんのこれからの成長につながる大切な宝物です。

この大会で経験したことを胸に、これからもサッカーを楽しみながら、さらに大きく成長してくれることを期待しています。

この大会が成功裏に終わったのは、選手の皆さんの頑張りはもちろんのこと、多くの皆様のご支援があったからこそです。

・「日頃から熱心にご指導いただいたコーチの皆様」

・「選手の送迎や応援に駆けつけてくださった保護者の皆様」

・「大会の準備・運営にご尽力いただいた（一社）藤枝市サッカー協会ならびに 4 種委員会 関係者の皆様」皆様のご協力に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

（担当/秋谷貴也君）

山本空ハンガリー交換留学12月レポート(2026'15)

ハンガリーに来て5か月目となりました。冬休みに入り、さまざまな経験をすることができたので紹介します。

12月6日には、先月紹介した通りプロムがあり、10学年の私たちのクラスはハンガリーの伝統的なダンスを踊りました。自分だけがアジア出身で、その中でハンガリーの伝統的なダンスを踊っているという特別な感覚があり、少し優越感に浸っていました。最高学年の生徒たちはクラスダンスとフォーマルなダンスの二種類を披露しており、クラスダンスではそれぞれのクラスの雰囲気がよく表れていてとてもユニークでした。一方、フォーマルなダンスはとても華やかで優雅でした。

プロムの後にはパーティーもあり、参加しました。日本にはあまりない学校文化なので、とても新鮮で楽しかったです。

12月13日と14日には、ロータリーのイベントがありました。

13日は短期留学生と交流しました。短期留学生は10人弱おり、全員3か月ほどハンガリーに滞在しているそうです。この日はトリックミュージアムや音楽ミュージアムを訪れました。さまざまな国の留学生と話すことができ、とても楽しい時間でした。特にオーストラリア出身の留学生と仲良くなり、オーストラリア英語を生で聞くことができたのが嬉しかったです。同じ英語でも国によって違いがあることに改めて興味を持ちました。

14日には、アウトバウンド留学生のために、インバウンド留学生が自国を紹介するプレゼンテーションを行いました。日本の私たちは持参した着物を着て発表しました。私はプレゼンテーションの中でクイズを作り、日本代表として良い印象を与えられたのではないかと思います。その後は各国ごとにスペースが設けられ、保護者や子どもたちとハンガリーや日本について話しました。プレゼンテーションでは、それぞれの国の特徴がはっきり表れていて、見ていてとても面白かったです。私は日本から持ってきた茶葉でお茶を淹れました。

12月19日には、大使館で出会った日本人大学生に、その方が働いている日本学校のクリスマスパーティーに招待していただきました。日本人とハンガリー人が混在する空間はとても興味深く、十代のハンガリー人も多く参加していました。彼らは皆日本語がとても上手で感激しました。その場ではほとんど日本語で会話をしており、新たなつながりができて良かったです。

12月20日には、ホスト兄弟のステップ兄弟の誕生日会に参加しました。全員でハンバーガーを作り、とても楽しい時間でした。ハンガリーでは日本よりも離婚率が高く、比較的一般的なことのようにです。学校でも両親が離婚している家庭の子どもを多く見かけます。この日から冬休みが始まりました。

12月22日には自由参加のロータリーイベントがあり、留学生やROTEXの方々やアイススケートをしたり、写真を撮ったりしました。また、その場で出会った13歳のハンガリー人の男の子たちと一緒に滑り、滑り方を教えてもらいました。ハンガリー語を学ぶ良い機会にもなりました。

ハンガリーでは12月24日、25日、26日の3日間でクリスマス祝います。クリスマス料理があり、魚のスープやフライ、ロールキャベツのような料理、シチュー、パイグリというお菓子などを家族で囲み、たくさん食べて過ごします。日本と違い、キリスト教徒が多いため、非常に大切に祝われていました。24日からほとんどのお店が閉まり、街全体がお祝いムードになります。家族内でプレゼント交換もあり、私は服や本をもらいました。自分からは本やマグカップなどをプレゼントし、とても喜んでもらえて嬉しかったです。

また、クラス内でも「シークレットサンタ」というプレゼント交換がありました。名前を書いた紙を引き、その人に向けて匿名でプレゼントを用意するものです。私は友達からAir Force 1をもらい、とても驚きました。こんなに良い靴をもらえるとは思っていませんでしたので、本当に嬉しかったです。私はアジアショップで日本の物を調達し、プレゼントしました。この日も着物を着て、クラスのみんなに見てもらいました。

日本ではクリスマスにケンタッキーを食べる家庭が多いとホストに伝えると、とても驚いていました。日本とはまったく違う雰囲気のクリスマスを体験することができました。

12月28日から30日まで、ハンガリーの海とも呼ばれるバラトン湖に行きました。ホストマザーの妹がその近くに住んでおり、そこに泊めてもらいました。初日は親戚と一緒にアイススケートをし、2日

目はハイキングをしました。その日は霧が濃く、景色はほとんど見えませんでしたが、カードゲームをしたり、一緒にジブリ映画を観たりして過ごしました。3日目は再び同じ場所をハイキングし、今度はとてもきれいな景色を見ることができました。半島にも行き、大きな教会からバラトン湖を眺めました。そこでランゴシュというハンガリー料理も食べました。バラトン周辺は夏になると多くの観光客が訪れるリゾート地だそうです。

滞在中、ホストマザーとその妹さんの関係があまり良くないことを知りました。妹さんは子どもがいないのですが、ホストの子育ての方針が気に入らず、口論になったことがあったそうです。両者の話を聞いて、考え方や生きてきた世界の違いが原因だと感じました。妹さんは尽くしてあげたいタイプで、ホストは子どもを自由に育てたいタイプです。日本人の感覚からすると、妹さんのように尽くしてくれる存在は大切にすべきだとも思いましたし、日本人に近い妹さんの感性と、ヨーロッパ的な価値観の強いホストの違いが生んだ衝突だとも感じました。

この出来事から、家族であっても自分を曲げずに生きることの大切さ、そして親ができることは自分の知る世界を伝えることであり、それを子どもに強要しないことなのだと学びました。ホストは「子どもにはバイキングのように、自分の好きなものを選んでほしい」と例えていましたが、それは成長して初めて可能になるものだとも感じました。

12月31日の大晦日は、クラスの友達に誘われてパーティーに行きました。ヨーロッパでは年越しを友達と過ごすのが一般的らしく、日本とは大きく違いました。元日は花火をしても良い日とされており、友達が持ってきた打ち上げ花火を皆で楽しみました。元日には豆とスパイスを使った伝統的な新年料理も食べました。

次のホストファミリーへの移動は1月中旬頃になる予定です。この1か月は非常に内容の濃い時間でした。次の1か月は、新しい環境に慣れること、そして学び続ける姿勢を忘れず、後悔のない毎日を過ごしていきたいと思います。

